記者発表資料

平成２０年１２月１８日
山形河川国道事務所

東北で新たに３ルートの風景街道を登録しました！

東北風景街道協議会は、１２月１１日、フォレスト仙台で開催された第３回東北風景街道協議会において、**平成20年度に登録申請のあった３ルートを、東北の風景街道として登録しました**。
これにより、東北の風景街道は、昨年度登録した１４ルートと合わせて**計１７ルート**となります。
今後、東北風景街道協議会では、地域の魅力向上に向けた各団体の様々な活動を支援してまいります。

■新規登録された３ルートは以下のとおりです。

・弘前まちなか散策街道（青森県）
・越後米沢街道・十三峠（山形県・新潟県）
・釜石「鉄のみち」（岩手県）

なお、各ルートの詳細については、東北地方整備局ホームページにも掲載しております。
http://www.thr.mlit.go.jp/road/sesaku/touhoku_fuukeikaidou/

・日本風景街道とは

道を舞台に、多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源や個性を活かした美しい国土景観の形成を図り、観光の振興や地域の活性化に寄与することを目的としています。

・東北風景街道協議会とは

東北ブロックの風景街道の登録申請受付や登録の審査、活動支援などを行うことを目的とし、平成１９年９月６日に設立しました。（協議会委員は別紙参照）

〈発表記者会：山形県政記者クラブ、米沢記者倶楽部〉

【問い合わせ先】
山形河川国事務所　電話：023-688-8940
調査第二課　課　長　　吉田（よしだ）　良勝（よしかつ）（内線 451）

弘前まちなか散策街道

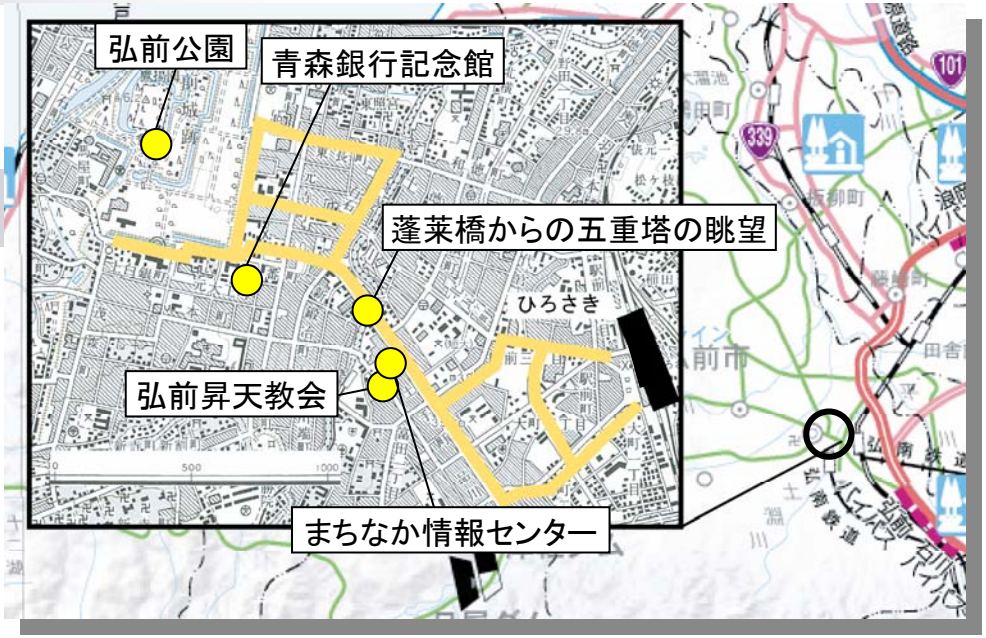
NO.1　TOUHOKU

活動目的

中心市街地の道路を1つの舞台と捉え、広場や店舗は大道具、街灯やフラッグ等は小道具、街角ライブなどは音響、ライトアップは照明、商店主は助演者・スタッフに見立てて、津軽地域の政治・経済・文化の中心都市として発展してきた当市の歴史や文化などを活用しながら、地域住民も観光客もともに共感・共鳴できる感動と交流の場を創出し、道路が秘める新たな魅力づくりを推進する。

中心となる道路および活動範囲

JR弘前駅から弘前公園までの(主)弘前・岳・鰺ヶ沢線及び(市)駅前広場・土手町線をはじめとする道路とその沿道を含む区域



構成団体　～風景街道パートナーシップ～

名称：弘前市中心市街地活性化協議会
（代表者：新戸部　満男 ）

【道路管理者以外の組織】
弘前商工会議所、NPO法人コミュニティネットワークキャスト、弘前駅前商店街振興組合、大町商店街振興組合、上土手町商店街振興組合、中土手町商店街振興組合、下土手町商店街振興組合、百石町振興会、弘南バス㈱、弘南鉄道㈱、㈱アップルコミュニケーションズ、弘前中央食品協同組合、津軽弘前屋台村協議会、社団法人弘前観光コンベンション協会、国立大学法人弘前大学、NPO法人harappa、NPO法人スポネット弘前、NPO法人弘前子供コミュニティぴーぷる、NPOふれーふれーファミリー、ギャラリーネットワークひろさき、社団法人弘前青年会議所

【道路管理者】 弘前市
（オブザーバー）青森県中南地域県民局

弘前まちなか散策街道

NO. 2　　TOUHOKU

地域資源

■景観資源
国史跡弘前公園や国指定重要文化財最勝院五重塔などの眺望
弘前昇天教会や青森銀行記念館などの歴史的建築物
■施設・情報資源
4商店街組織、市まちなか情報センター



▲青森銀行記念館
青森県初の国立銀行（旧第五十九銀行）の本店として1904年（明治37年）に完成した建築物である。国の重要文化財に指定されている。太宰治で知られる斜陽館の設計者でもある堀江佐吉という人物が設計を行っている。館内は一般公開されている。



▲国史跡弘前公園
津軽統一を果たした津軽氏の居城、弘前城天守や、櫓、城門が、当時の姿を今に伝える城趾を整備してできた公園。49ha。春は約50種2600本の桜が咲き誇る。「日本の都市公園100選」に選ばれている。

活動内容

- 「まちかど広場」の設置
- よさこい津軽、じょっぱれ弘前の開催
- 歩行者天国定期開催の検討・実証実験　（H20～H24）
- まちなかイメージアップフラッグ作成・検討　（H20～H24）
- 沿道装飾用植物の検討　（H20～H24）



▲「まちかど広場」の設置
市内7ヶ所に、景観に配慮したベンチやトイレ、水飲み場等が整備された街角広場を設置し、「まちかど広場クリーン大作戦」などのイベントも開催している。



▲よさこい津軽
「黒石よされ」や津軽富士（岩木山）を踊りのテーマに取り入れるなど、弘前独自の文化が融合させて誕生したよさこい祭り。

今後のスケジュール

事業内容	H20	H21	H22	H23	H24
歩行者天国定期開催事業内容の検討					
歩行者天国定期開催実証実験					
まちなかイメージアップフラッグのデザイン、設置場所等の検討					
まちなかイメージアップフラッグ実証実験					
沿道装飾用植物等のデザイン、設置場所等の検討					
沿道装飾用植物等設置実証実験					

越後米沢街道・十三峠

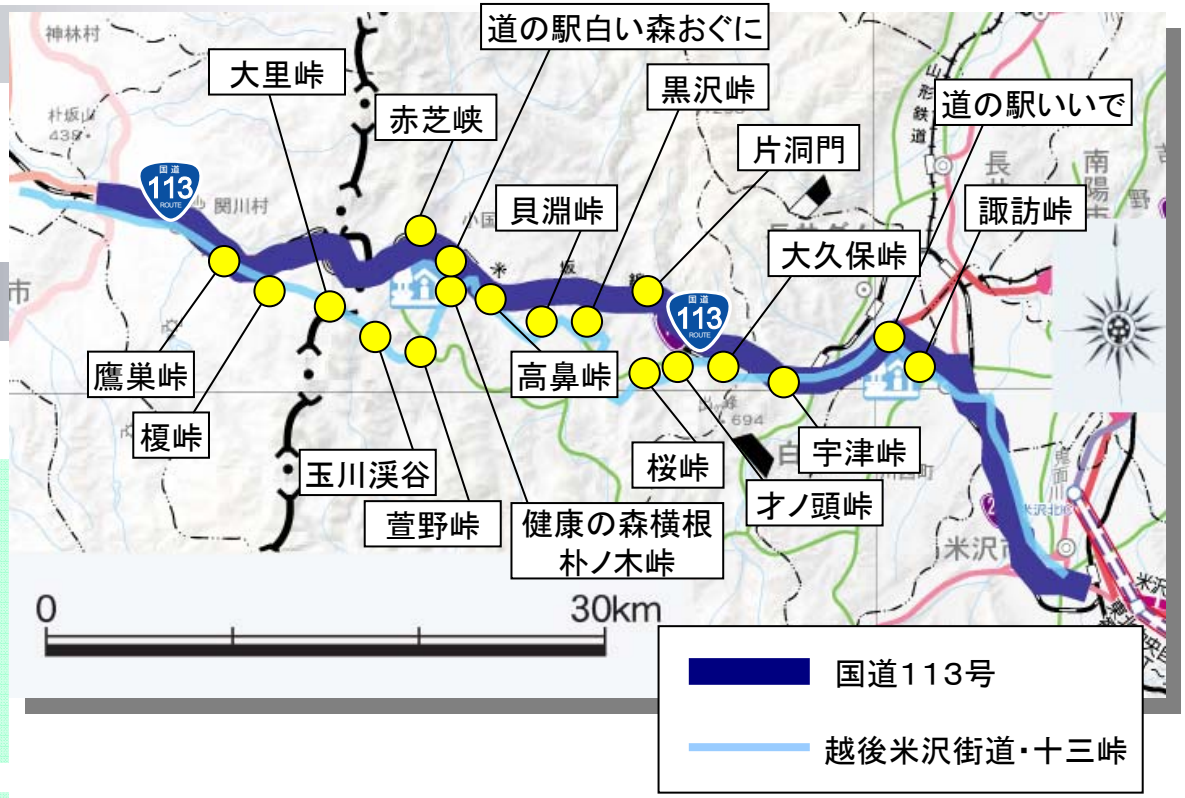
NO. 1　*TOUHOKU*

活動目的

山形県置賜地域と新潟県下越地域を結ぶ重要な街道であった「越後米沢街道」を文化的・歴史的な地域振興資源として保存・整備し、さらなる活用を図り協働のまちづくりに貢献する。

中心となる道路および活動範囲

国道113号　越後米沢街道を中心とした山形県川西町から新潟県関川村周辺



構成団体　～風景街道パートナーシップ～

名称：越後米沢街道・十三峠交流会
（代表者：井上　俊雄）

【道路管理者以外の組織】
NPO法人ここ掘れ和ん話ん探検隊、手ノ子地区協議会、黒沢峠敷石道保存会、玉川地域振興協議会、小松地区地域づくり協議会、全国森林インストラクター会、小国町観光協会、飯豊少年自然の家、関川村自然環境管理公社、小国町、飯豊町、川西町、関川村、山形県（置賜総合支庁）

【道路管理者】
国土交通省山形河川国道事務所、国土交通省羽越河川国道事務所、国土交通省、新潟国道事務所

越後米沢街道・十三峠

NO. 2 TOUHOKU

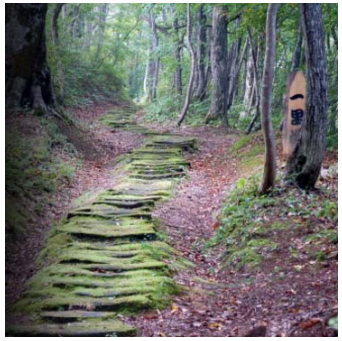
地域資源

■自然資源
赤芝峡、玉川渓谷、片洞門

■歴史資源
越後米沢街道、イザベラの道

■体験交流資源
健康の森横根（朴ノ木峠）

■施設・情報資源
道の駅いいで　道の駅白い森おぐに



▲黒沢峠敷石道
「越後街道」十三峠のひとつであり、敷石が長い間土に埋もれていたが、昭和55年に黒沢集落の人びとによって保存会が結成され、覆土を除去し、往時の姿に整備する活動が始まった。



▲赤芝峡
秋の紅葉の名所。磐梯朝日国立公園に属する荒川峡のなかで、最も紅葉が美しいとされる峡谷。遊歩道が整備されている。

明治11年には、イギリスの女性紀行家イザベラ・バードが訪れ、その時の黒沢峠周辺の村の風景や生活の様子が「日本奥地紀行」に記されている。

活動内容

- 街道整備（保全・調査復元活動）（H20～H24）
- 地域内交流（ウォーキングイベント・峠まつり等）（H20～H24）
- 東北街道交流事業　（H21～H24）
- フォトコンテスト　　（H21～H22）
- パンフレット作成　　（H22～H23）



▲ｳｫｰｷﾝｸﾞｲﾍﾞﾝﾄ
H20年6月に「ツーデーウォーキング」を開催。50名余の参加者が、イザベラ・バードが歩いたにしえの峠道を歩いた。



▲峠の復元活動
H20年7月に通算3回目となる萱野峠の「敷石惚れ掘れ探検隊」を開催。50名余の参加者が敷石の掘り起こし作業を行った。

今後のスケジュール

事業内容	H20	H21	H22	H23	H24
街道整備					
地域内交流事業					
東北街道交流事業					
フォトコンテスト					
パンフレット作成					

釜石 「鉄のみち」

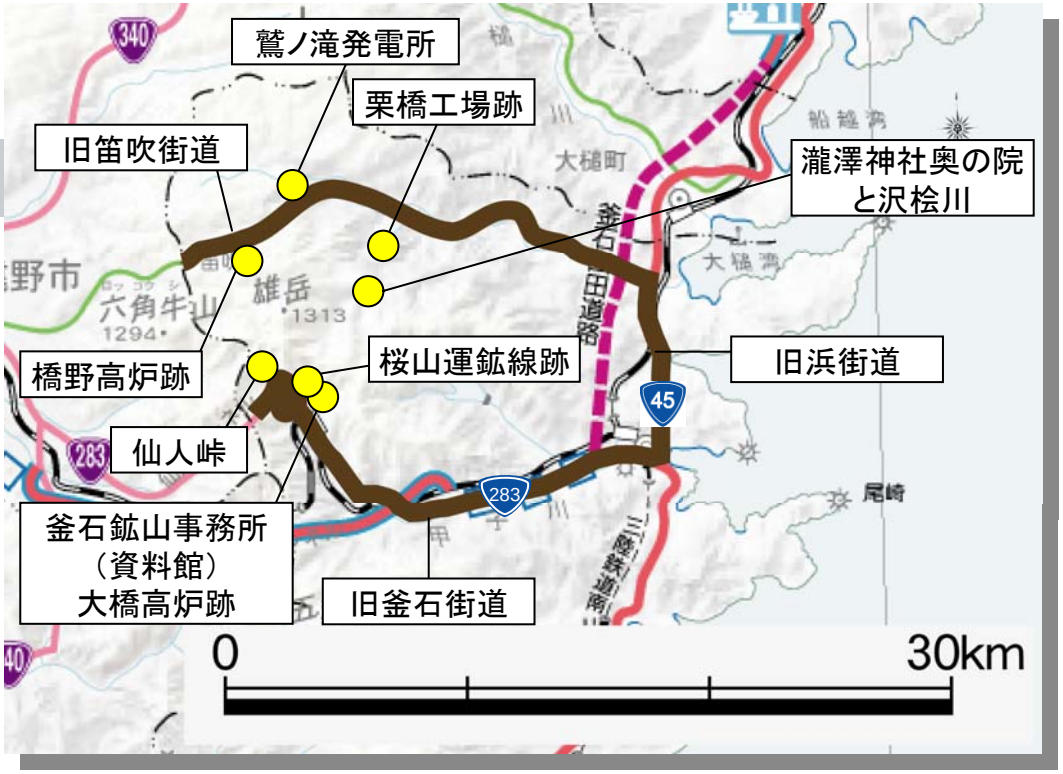
NO.1 TOUHOKU

活動目的

地域団体と連携し、近代製鉄に係る産業遺産とそれを支えた街道景観の保全と地域ツーリズムビジネスの振興により地域の活性化に寄与する。

中心となる道路および活動範囲

釜石市の国道283号～国道45号～主要地方道遠野釜石線



構成団体 ～風景街道パートナーシップ～

名称：釜石鉄のみちネットワーク
（代表者：海野　伸）

【道路管理者以外の組織】
いわて街道交流会、釜石市、特定非営利活動法人 いわてNPOセンター

【道路管理者】
岩手県釜石地方振興局、国土交通省三陸国道事務所

釜石「鉄のみち」

NO. 2　　TOUHOKU

地域資源

■歴史資源

近代製鉄発祥地釜石鉱山を含む産業遺産群（橋野高炉跡、鷲ノ滝発電所、栗橋工場跡、大橋高炉跡、釜石鉱山事務所（資料館）、桜山運鉱線跡）

旧釜石街道、旧笛吹街道、旧浜街道

■景観資源

瀧澤神社奥の院と沢桧川



▲釜石鉱山

明治から戦前にかけて名を馳せた日本有数の鉱山である。鉄以外に金・銀・銅・鉛なども産出していたが、平成5年に大規模な鉄鉱石の採掘は、終了している。現在は、研究用の鉄鉱石や鉱泉水などが採られている。



▲橋野高炉跡

万延元年（1860年）頃に完成したとされ、3基の高炉が確認されている。

現存する日本最古の洋式高炉跡として、昭和32年には国の文化財（史跡）に指定されている。

活動内容

- 板野地区・大橋地区の勉強会　（H20）
- 地域資源を活用した商品造成（H21～H22）
- ガイドの育成　　（H22）
- 情報発信手法の検討　　（H20）
- 街道歩き資源マップの作成　（H21）
- 案内板の検討・設置　（H20～H21）
- 地域ツーリズムの事業化（H22～H24）
- 鉄のみち探訪会　　（H20～H24）
- 鉄のみち資源調査　　（H20～H24）



▲鉄のみち探訪会

近代製鉄に係る産業遺産を巡り、「鉄の歴史・文化」を学ぶと共に、地域の交流を深める活動を行っている。

今後のスケジュール

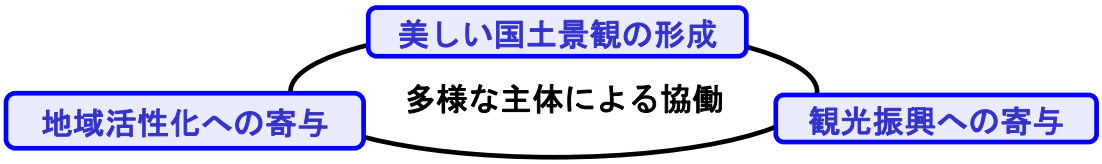
事業内容	H20	H21	H22	H23	H24
橋野地区・大橋地区の勉強会	■				
地域資源を生かした商品造成ワークショップ		■			
地域資源を活用した商品造成			■		
ガイドの育成			■		
情報発信手法の検討	■				
街道歩き資源マップの作成		■			
案内板の設置準備	■				
協働作業での案内板の設置		■			
地域ツーリズムの事業化（予約販売システムの構築）			■		
地域ツーリズムの事業化（予約開始）			■		
地域ツーリズムの事業化（本格支援体制構築）			■	■	■
地域資源の保存利活用（鉄のみち探訪会）	■	■	■	■	■
地域資源の保存利活用（次年度以降の企画策定）	■				
地域資源の保存利活用（鉄のみち資源調査）	■	■	■	■	■

日 本 風 景 街 道

日本風景街道とは

目 的

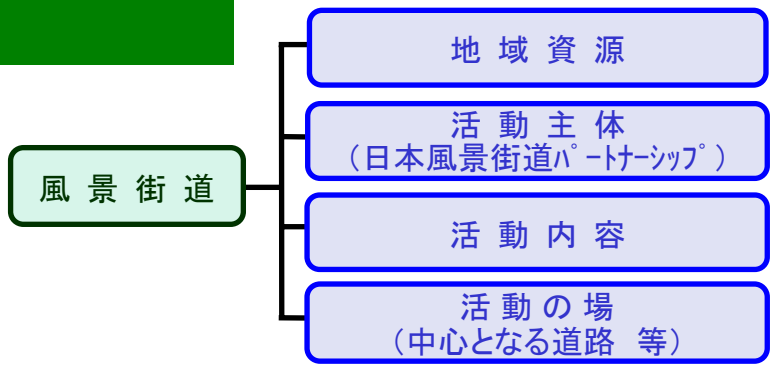
●郷土愛を育み、日本列島の魅力・美しさを発見、創出するとともに、**多様な主体による協働**のもと、景観、自然、歴史、文化等の**地域資源を活かした国民的な原風景を創出**する運動を促し、もって、**地域活性化、観光振興に寄与**



日本風景街道の仕組み

構成する要素

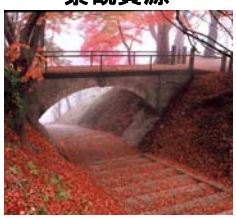
●日本風景街道を構成する要素としては、地域資源、活動主体、活動内容、活動の場があり、それらを総称して「風景街道」という。



日本風景街道を構成する要素（地域資源）

地 域 資 源

景観資源



自然資源



文化資源



歴史資源



体験・交流資源



施設・情報資源



◆申請主体

道路ならびにその沿線や周辺地域を舞台とし、地域の資源を活かした多様で質の高い風景の形成等に係わる活動を実施する全ての団体が参加可能。

ただし、日本風景街道に登録をするためには、「風景街道パートナーシップ」が申請主体となる必要がある。

◆登録条件

風景街道を登録するためには以下に示す条件を満たす必要がある。

①風景街道パートナーシップが組織されていること

（注）暴力団その他の反社会的活動を行う団体は除外すること

②日本風景街道の地域資源のうちいずれか一つ以上の資源を申請している「風景街道」に有していること

③風景街道パートナーシップが日本風景街道の理念に賛同し、それらに合致した活動を継続的に実施していること

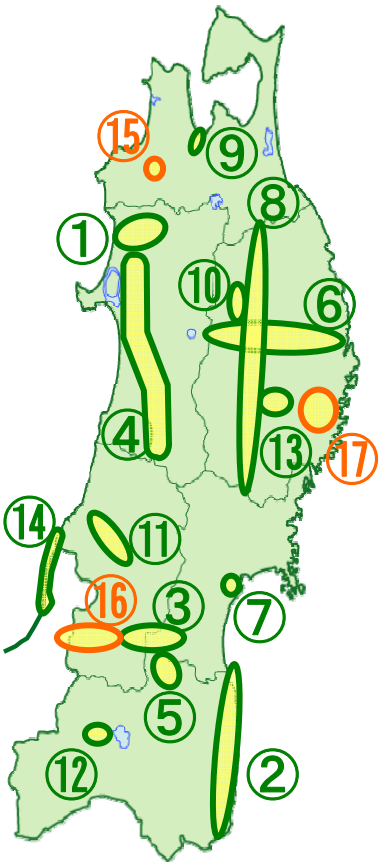
（注）特定の政治的及び宗教的信条にもとづく活動を行わないこと

④申請している「風景街道」に「中心となる道路」が存在していること

日本風景街道＜登録地域一覧＞

東北地域おいて登録されている風景街道～17ルート～

※平成20年12月現在



風景街道名称		パートナーシップ名称	中心となる道路（主な路線）	県名	延長
①	のしろ白神（しらかみ）の道	のしろ白神ネットワーク	国道7号	秋田	100km
②	ふくしま浜街道（はまかいどう）ハッピーロード	ハッピーロードネット	国道6号、常磐自動車道	福島	145km
③	みちのくおとぎ街道	国道113号観光推進協議会	国道113号	宮城・山形	80km
④	菅江真澄（すがえますみ）と巡るあきたの道	秋田のみち・文化再発見の会	国道13号、国道7号、国道101号	秋田	195km
⑤	桑折宿（こおりじゅく）まちなか街道	奥州・羽州街道「桑折宿」パートナーシップ	県道国見・福島線他	福島	9.5km
⑥	忘れられた道造りの歴史と絶景を「江戸の旅日記から感じる道」	秋田岩手風景街道づくり協議会	国道46号、国道106号	岩手	120km
⑦	鹽竈（しおがま）海道	鹽竈海道まちづくり研究会	（主）塩釜吉岡線	宮城	1.0km
⑧	奥州街道（おうしゅうかいどう）　温故知新の道	奥州街道ネットワーク	国道4号	岩手	185km
⑨	青森エントランスロード	青森エントランスロード景観づくり推進会議	（主）青森浪岡線他	青森	15km
⑩	巣子（す　ご）の松街道	巣子の松街道パートナーシップ	国道4号	岩手	6.0km
⑪	出羽の古道 六十里越（ろくじゅうりごえ）街道	出羽の古道　六十里越街道会議	国道112号	山形	30km
⑫	城下町あいづ道草街道	城下町あいづ道草街道推進協議会	国道252号、県道湯川大町線　他	福島	9.5km
⑬	広瀬川せせらぎ緑道（りょくどう）	広瀬川まちづくり倶楽部	（主）北上東和線他	岩手	0.5km
⑭※	日本海パークライン	みちづくりパートナーシップ「日本海パークライン」	国道7号、国道345号、瀬波1号線	山形・新潟	61km
⑮	弘前まちなか散策街道	弘前市中心市街地活性化協議会	（主）弘前・岳・鰺ヶ沢線、（市）駅前広場・土手町線　他	青森	5.4km
⑯※	越後米沢（えちごよねざわ）街道・十三峠	越後米沢街道・十三峠交流会	国道１１３号	山形・新潟	71km
⑰	釜石「鉄の道」	釜石鉄のみちネットワーク	国道283号、国道45号、（主）遠野釜石線	岩手	57km

⑮、⑯、⑰：平成20年度新規登録ルート

※北陸風景街道協議会と跨り登録されているルート

東北風景街道協議会　委員名簿

氏　　名	役　　職
（会長） 藤　﨑　三郎助	東北経済連合会　副会長
佐　藤　和　幸	（株）プレスアート　ネット事業開発室　室長
志　賀　秀　一	（株）東北地域環境研究室　代表
鈴　木　紳　一	河北新報社　総合調整室　副部長
田　浦　芳　孝	日本観光協会東北支部　支部長
髙　橋　　信	日本旅行業協会東北支部　支部長
堀　　繁	東京大学　アジア生物資源環境研究センター　教授
松　田　悦　子	日本青年会議所東北地区協議会　直前会長
間　庭　　洋	東北六県商工会議所連合会　常任幹事
宮　原　育　子	宮城大学　事業構想学部　教授 （敬称略・五十音順）
三　浦　真　紀	東北地方整備局　道路部長
小田部　幸　夫	青森県　県土整備部長
佐　藤　文　夫	岩手県　県土整備部長
三　浦　良　信	宮城県　土木部長
中　山　敏　夫	秋田県　建設交通部長
高　村　義　晴	山形県　土木部長
秋　元　正　國	福島県　土木部長
犬　飼　良　次	仙台市　建設局長

（平成２０年１２月１１日現在）